DVR BUILT-IN CAMERA

取扱説明書

NS-30VSDR　NS-31SDR

NS-30VSDR

NS-31SDR

SDカードをカメラに再挿入する場合は、必ずPC上でフォーマットをしてからご使用下さい
また、SDカードの抜き差しは必ず電源をお切りになったうえで行ってください

製品の定格及びデザインと仕様は改善等のため予告なく変更する場合があります。

ご使用の前に、『安全上のご注意』を必ずお読みいただき、安全にご使用ください。

保証書は、『お買い上げ日・販売店』などの記入を必ずお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
安全に正しくご使用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、保証書と取扱書を一緒にいつでも見られるところに保管し、必要なときにお読みください。

Ver.1408

安全上のご注意

ご使用の前に、この『安全上のご注意』をよくお読みの上、正しくお使い下さい。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使い頂き、使用する方への危害や損害を未然に防止する為のものです。安全に関する重大な内容なので、必ず守ってください。

⚠	警告	誤った扱いをしたときに、人が死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きい内容			
⚠	注意	誤った扱いをしたときに、人が損害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容			
⊘	絶対にしないでください。	⚠	警告・注意	❗	必ず、従ってください。

⚠ 警告		
⊘	⚠	発火や引火の可能性がある場所には設置しないでください。ガスなどの充満した場所に設置すると火災の原因となります。
⊘	⚠	カメラの分解、改造は絶対に行わないでください。発熱して火災の原因となる場合があります。内部点検・調整・修理は販売元にご依頼ください。
⊘	⚠	濡れた手でカメラを触らないでください。感電の原因となることがあります。
⊘	⚠	埃や湿気の多い場所、雨や雪が直接当たるところには設置しないでください。火災や感電の原因となります。
⊘	⚠	機器に水が入ったり、濡らさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用、および天井水漏れにご注意ください。
⊘		雷が鳴りましたら、同軸ケーブルや電源ケーブル等に触れないでください。感電の原因となります。
❗ 注意		
❗		本機を他の機器と接続する場合には、接続する機器の取扱い説明書をお読みになり悪影響が無い事を確認してください。
❗		周囲温度が45℃以上、また-5℃以下の場所では使用しないでください。画質低下や故障の原因となります。
❗		指定された電源以外では使用しないでください。火災や感電の原因となります。

目次

安全上のご注意 - 2
目次 - 3
1. はじめに - 4-5

2. 機器について- 6
2-1　同梱品の確認 - 6
2-2　本体各部の機能 - 7
2-3　リモコン - 8
-
3. メニュー画面- 9
3-1　メインメニュー - 10
3-2　システム設定 - 10
3-3　ビデオ設定 - 11-13
3-4　イベント設定 - 13-14
3-5　サブメニュー - 15-16

4. 録画検索 - 17
4-1　検索方法 - 18-21

5. 録画時間目安- 22

6. トラブルシューティング - 23

保証書

1. はじめに

必ずお読みください

SD内蔵型カメラ 『NS－30VSDR』『NS－31SDR』は、配線工事が難しく、工事代が膨らみ、設置や導入が見送られてきた場所への導入を提案、推進できる画期的な防犯カメラですが、毎日、モニター監視をしている方がいないため、日ごろの機器メンテナンスが大変重要なカメラともいえます。
本製品で録画した映像は、場合によって被撮影者のプライバシー権利を侵害することがあります。映像を活用する際はご注意してください。撮影した映像に関するプライバシートラブルなどに関しまして弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承下さいませ。

安全上の注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次に説明します。

1. 正規の電源を使用してください。指定された電圧を越えるもの(DC12V)を供給する電源にこの製品を接続すると製品に損傷を与えます。
2. SDカード差込口（スロット）に金属などの異物を差し込むと感電する場合があります。
3. 濡れたままでまたは埃をかぶった状態で使用しないでください。製品は清潔で、乾燥している場所でお使いください。
4. 本製品は防水仕様ではありません。屋外では防塵性の高い防水ハウジングに入れてお使いください。万一水がかかった場合は、すぐにコンセントを抜いて販売店にご連絡ください。
5. 本製品の外部のケースを清掃するには、軽く湿らせられた布を使用してください。溶剤は厳禁です。
6. 製品が作動しない場合は故障も考えられます。異常な音やにおいのする場合は直ちにコンセントからプラグを抜いて販売店にご連絡してください。
7. トップカバーをはずして使わないでください。
8. 警告:トップカバーをはずすと電気的異常をきたす恐れがあります。
9. 製品は精密機械なので、強く落下したり、ぶつけたりして破損しないよう注意深く扱ってください。
10. 万一、通常の使い方で故障した場合は、直ちに使用を中止し、修理または交換のため販売店にご連絡ください。

免責事項

- 本製品で録画した映像は、個人として利用するほかは、著作権法上権利者に無断で利用できませんのでご注意ください。
- 雷、津波、地震、その他自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障および損傷が生じた場合、または弊社または弊社が許可した者以外が

分解や改造した場合、または腐食や錆などによる外観の劣化の場合、原則として有償での修理とさせていただきます。

- 別売りのSDカードなど消耗品に関しましてのトラブルは、弊社は一切の責任を負いません。本製品の保証は、本書記載の内容をお守り頂かなかった場合、適用対象になりません。

最重要事項

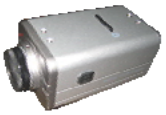
設置時やSDカメラの取扱いについて

1. SDカードは必ずフォーマットしたものを使用してください。他のファイルが残ったものを使用されるとフリーズや読み込みエラーなどの原因になります。またSANDISK社TRANSCHEND製CLASS6タイプのものをお勧めしております。（他のメーカーのものでは十分な試験が行われておりませんので互換性や不相性の問題がございます）。また、MICRO　SDカードは対応しておりません。
2. SDカードは静電気に弱く、電源が入った状態でのカードの抜き差しはデータが破損する場合があります。また製品寿命もございますので、メンテナンスなど定期的にSDカードを交換されることをお勧めしております。
3. SDカードを取り出すときは録画ボタンを3秒以上押して録画を中止してから取り出してください。録画中に取り出すと最後の録画ファイルは破壊され、SDカードの破損にもつながります。また、録画中に電源を切ると最後の録画ファイルが破壊します。録画中止してから電源を切ることをお勧めします。
4. SDカメラは設置時にメンテナンスや再起動を行えるよう映像出力（BNC）や電源接続部（DCジャック）を管理しやすい場所に収納して設置してください。
5. SDカメラ本体にあるリモコン受光部は家庭内でご使用になられる「エアコン」「テレビ」など一般的な周波数帯と合致する可能性があります。屋内設置される際は受光部にシールを貼るなど後日、誤作動を引き起こさないよう留意なさってご使用ください。
6. SDカメラは熱や湿気に弱く、電磁波などの影響を特に受けやすい精密機器であるとわかっております。屋外設置される場合は特に高温にならないよう配慮工夫して設置いただくことをおすすめします。
7. 製品を長い間使わないで放置していると内蔵のRTC用バッテリーが放電して製品が起動しないことがあります。1時間以上充電してください。（バッテリーはタイムジェネレーター駆動用です）
8. 内蔵のタイムジェネレーターの精度は電波時計のように正確ではありません。25℃環境下で最高±12分以下/年の誤差が出ます。（使用環境温度が大きくぶれるところ-20℃～70℃では最高±60分以下/年）
   したがって時々設定を合わせることをお勧めします。

2.機器について

2-1　同梱品の確認

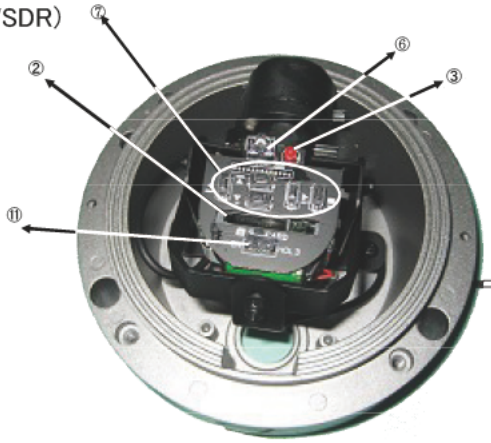
万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店にお申し付けください。

	NS-30VSDR	NS-31SDR
カメラ本体		
リモコン		
ビュアーソフト		
電源アダプター		
取扱説明書		
その他	 固定用レンチ	 電源入力端子・アラーム入力端子
オプション（別売）	 SDカード	 SDカード・取付金具・レンズ

2-2　本体各部の機能

スタンダードタイプ（NS-31SDR）

ドームカメラタイプ（NS-30VSDR）



電源端子
（付属アダプターを接続します）

映像端子
（モニターへ接続します）

① アラームOUT/IN
ターミナルブロックにセンサーを接続するとセンサーで反応したときイベント録画を始めます。
② SDカードスロット
SANDISK社、TRANSCEND製の32GBまでのSDカードを挿入してください。
③ 録画LED
録画中はLEDが点灯します
⑤ 電源LED
電源が入っているとき点灯します。
⑥ リモコン受光部
リモコンを使うときにこちらに向けてください。家庭内のリモコンに反応する恐れのある場合はシールなどでふたをなさってください。
⑦ OSDボタン
カメラ内部の設定をする際に使用します。（カメラ側のマニュアルを参照ください）
⑧ 映像出力 （BNC）
⑨ 音声マイク
⑩ 電源入力（極性に注意。右側が＋プラス、左が-マイナス）
⑪ リモコン無効設定スイッチ リモコンの動作を無効にします。

NS-31SDR カメラへの電源入力

電源アダプターの端子先端を切り落とし、皮むきして＋－間違えないようにカメラ側の緑色の端子に接続してください。

カメラ側は背面に向かって 右が＋ 左が－

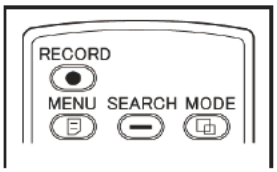
アダプターは印刷してある電線が＋ 無垢の電線が－ です。

2-3　リモコン

1		REC	録画開始 / 停止を操作します。
2		MENU	メニュー画面を表示させます。また、一つ前のメニュー画面へ戻ります。
3		UP/ DOWN	メニュー画面でカーソルを上下移動させます。 また、個々の設定数値を変更します。
4		LEFT/ RIGHT	メニュー画面では、個々の設定数値を上下変更します。
5		REW	再生画面内で巻き戻し操作を行います。
6		FF	再生画面内で早送り操作を行います。
7		PLAY	検索画面から、再生を実行します。
8		STOP	再生を実行中、再生を停止します。
9		PAUSE	再生を実行中、再生を停止します。もう一度押すと再開します。
10		MUTE	再生を実行中、音声を消します。
11		ENT	メニュー画面では、各項目の数値変更や、設定変更の決定を 行います。
12		SEARCH	再生検索画面を表示します。
13		MODE	再生画面とカメラ映像画面を切り替えます。再生は継続します。

3. メニュー画面

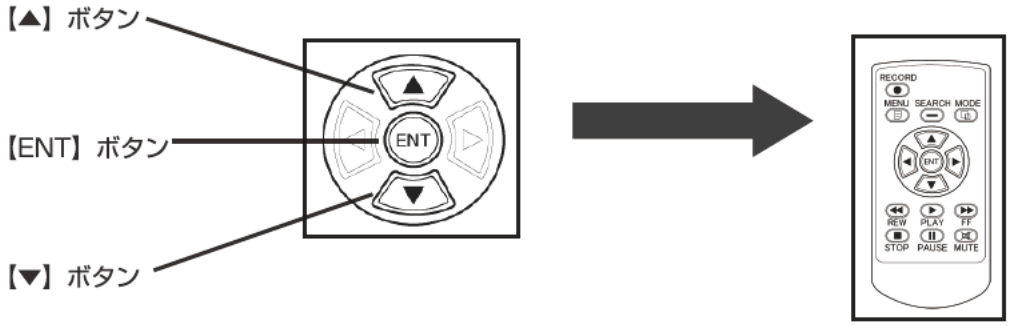
メニュー画面の出し方（操作は全て付属のリモコンで行ってください。）



【▲ / ▼ / ◀ / ▶ /】ボタンで移動、
選択します。
【ENT】ボタンで決定、次項目へ移動します。
【MENU】ボタンで前画面に戻ります。

メニュー画面を出すには【MENU】ボタンを押してください。
上記の画面が表示されますので、パスワードを４桁入力します。
工場出荷時はパスワードが〔0,0,0,0〕になっておりますので、そのまま【ENT】ボタンを４回押します。
「0」以外の数値を入力する場合は、【▲ / ▼】ボタンで数値を変更し、設定したい数字が出たら【ENT】ボタンを押します。カーソルが次の桁に移動し、同じく【▲ / ▼】ボタンで数値を設定し【ENT】ボタンを押してください。

※録画中は「メニュー画面」は表示されません。一度録画を停止してから行ってください。
録画を停止するには【RECORD】ボタンを３秒以上長押しします。（モニター右下のマークが消えます。）



3-1　メインメニュー

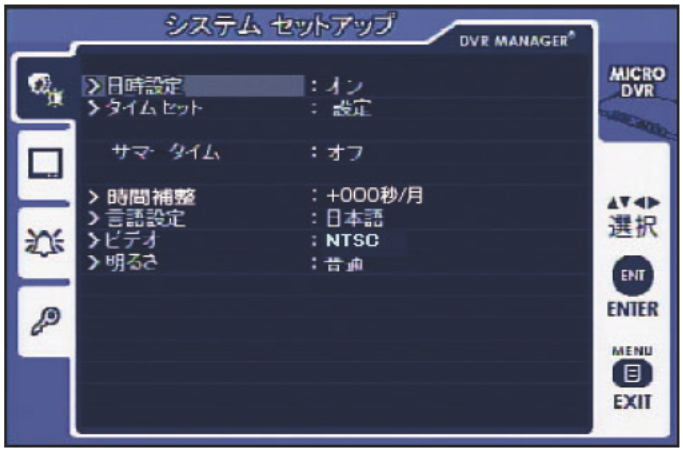
メインメニューでは、リモコンの【▲ / ▼】ボタンで設定したい項目までカーソルを移動させます。設定したい項目が決まったら【ENT】ボタンを押してください。画面は選択した項目に移動します。
（次ページの例ではカーソルは“システムセットアップ”を選択しています。）

【ENT】ボタンで決定、次項目へ移動します。
「システムセットアップ」画面へ移動します。

【MENU】ボタンで前画面に戻ります。

3-2　システム設定

※初期化オプションを実行すると、表示言語は英語になります。その場合、下記画面を操作し、
　表示言語を Japanese」に変更します。



【▲ / ▼ / ◀ / ▶ /】ボタンで移動、
選択します。
【ENT】ボタンで決定、次項目へ移動します。
【MENU】ボタンで前画面に戻ります。

●日時設定　：　現在の日時と時刻を設定します。

例：2013/02/17（年 / 月 / 日）　　19:44:32　（時間 / 分 / 秒）の順に
数値を変更します。カーソルは【◀ / ▶】ボタンで移動、【▲ / ▼】ボタンで数字を上下させます。
必ず秒の数値の場所で、【ENT】ボタンで決定します。決定しない場合は、時刻の設定は反映されません。

●タイムセット　：　スクリーン上に時間を表示します。「ON/OFF」選択できます。

●サマータイム　：　※通常は使用しません。
　※使用した場合、設定時間を一定期間中 1 時間進めて表示します。

●時間補整　：　時間のずれを補正します。月 / 週 / 日毎に、秒単位で補正数値を設定できます。
タイムセットで現在の時刻を入力して保存した後、月 / 週 / 日毎に補正数値を入力することで時刻を強制補正します。
※内蔵のタイムジェネレーターの精度は電波時計のように正確ではありません。使用環境温度が大きく変動する影響する場合があります。-10℃～ 40℃では± 60 分程度 / 年の誤差を生ずる場合もあります。したがって時々現在時刻に設定を合わせ、補正機能によって誤差を修正してください。
※時間補整の設定は、例：+004 秒 / 日　の設定を参考に、前後させてください。

●言語設定　：　日本語（他、英語、フランス語、オランダ語、ドイツ語、スペイン語、から選択できます。
出荷時は日本語で設定されています。

●映像出力　：　NTSC で使用します。

●明るさ　：　映像表示の明るさを、「最低 / 標準 / 最高」から選択します。

3-3　ビデオ設定

録画設定を行います。

【▲ / ▼ / ◀ / ▶ /】ボタンで移動、選択します。
【ENT】ボタンで決定、次項目へ移動します。
【MENU】ボタンで前画面に戻ります。

●解像度　：　録画解像度を設定します。
録画解像度を、4CIF（704 × 480）、2CIF（704 × 240）、CIF（352 × 240）に設定できます。
数値が大きいほど画質が高くなり、録画時間が短くなります。

録画時の解像度（↓図）

	高　い	普　通	低　い
4CIF	704x480 / 30fps	704x480 / 30fps	704x480 / 30fps
2CIF	704x240 / 30fps	704x240 / 30fps	704x240 / 30fps
CIF	352x240 / 30fps	352x240 / 30fps	352x240 / 30fps

※再生時の解像度は 4CIF（704 × 480）となっております。

●画質　：　録画画質を「高い／普通／低い」から選択します。
カーソルを“画質”に合わせ【ENT】で項目決定　→　【◀ / ▶】ボタンで画質変更　→　【ENT】で決定します。

●フレーム数　：　録画映像の 1 秒間に保存するコマ数を設定します。
フレーム数が多いほど滑らかな動きの映像を録画しますが、録画できる時間は短くなります。
フレーム数が少ないほど動画がコマ送り状態となるため、撮影対象に合わせて設定します。

カーソルを【▼】ボタンで「フレーム数」に合わせ【ENT】で決定　→　【▲ / ▼】ボタンで設定変更
(下記の様に数値が順還又は逆順します。) →　【ENT】で決定
（1fps）　→　3fps　→　6fps　→　10fps →　15fps　→　30fps　→
※ 1fps は機器の特性上使用を推奨しません。

●プリレコーディング時間　：　録画開始直前より遡って（およそ 5 秒前から）録画を開始する機能を「オン / オフ」選択します。
（フレーム数設定値によって、プレレコードの秒数は自動的に決定されます）
※動体検知（モーション）録画設定時にのみ機能します。

カーソルを【▼】ボタンで「プリレコーディング時間」に合わせ　【ENT】で決定　→　【◀ / ▶】ボタンで「オン / オフ」を選択します。

●ポストレコーディング時間　：　イベント録画時の録画する時間を設定します。
イベント反応時 (アラーム、モーション) に作成される録画データの時間を、5 秒～ 30 分の間で設定できます。設定した時間分を 1 ファイルとして保存します。
※「イベントセットアップ」で「アラームセットアップ／モーション」＝「オン」での録画設定時のみ機能します。

カーソルを【▼】ボタンで“ポストレコーディング時間”に合わせ　【ENT】で決定　→
【▲ / ▼】ボタンで時間変更　(下記の様に数値が順還又は逆順します。) →　【ENT】で決定
05sec ～ 59sec：5 秒～ 59 秒　→　01min ～ 30min：1 分～ 30 分
※解像度 / 画質 / フレーム数によってポストレコーディング時間の最小値は異なります

●オーディオ入力レベル　：　音声録音時の音量を「0（オフ）～ 10（最大)」に設定します。
※誘導性のノイズを拾うことがありますが、機器の不良ではありません。
※音質は接続したカメラ（マイク）影響されます。
※マイク機能のないカメラを使用する場合は、「0（オフ)」にすることで、録画時間が若干長くなります。

カーソルを【▼】ボタンで“フレーム数”に合わせ【ENT】で決定　→　【▲ / ▼】ボタンで設定変更
(下記の様に数値が順還又は逆順します。) →　【ENT】で決定
0 → 1 ～ 10 → 0

●上書き　：　録画データの上書き機能を「オン／オフ」設定します。
「オン」の設定では、SD カードの容量がいっぱいになった時点で録画された古いデータから上書きされます。
「オフ」の設定では、SD カードの容量がいっぱいになった時点で録画を停止します。

カーソルを“上書き”に合わせ【ENT】で項目決定　→　【◀ / ▶】ボタンで「オン / オフ」変更　→　【ENT】で決定します。

●警告 / ディスク容量残なし　：　「上書き」設定が「オフ」の状態で SD カードの容量がない場合、
に表示する警告メッセージ表示を「オン / オフ」選択します。

カーソルを“上書き”に合わせ【ENT】で項目決定　→　【◀ / ▶】ボタンで「オン / オフ」変更　→　【ENT】で決定します。

3-4　イベントセットアップ

【▲ / ▼ / ◀ / ▶ /】ボタンで移動、
選択します。
【ENT】ボタンで決定、次項目へ移動します。
【MENU】ボタンで前画面に戻ります。

●アラームセットアップ　：　アラーム録画時の信号の入出力「オン / オフ」また、種類を選択します。

○アラーム入力 : (オン / オフ) アラーム入力を使用する場合は“オン”にします。
入力タイプ : 接続するセンサーに合わせて“NO”か“NC”を選択してください。
○ NC　：　（ノーマルクローズ） B 接点出力タイプのセンサーを接続します。
接続しているセンサーケーブルラインをオープンすればアラーム録画は自動的に開始します。
○ NO　：　（ノーマルオープン）A 接点出力タイプのセンサーを接続します。
接続しているセンサーケーブルラインをショートすればアラーム録画は自動的に開始します。

○アラーム出力　：　（オン / オフ）アラーム出力する場合は“オン”にします。
出力タイプ :“NO”か“NC”を選択してください。
○ NC　：　（ノーマルクローズ）NC 入力タイプの外部機器に接続します。
○ NO　：　（ノーマルオープン）NO 入力タイプの外部機器に接続します。

カーソルの【▼】ボタンで各項目に移動　→　【ENT】で決定　→　【◀ / ▶】ボタンで「オン / オフ」または「NO/NC」を設定変更→　【ENT】で決定

●連絡アラーム　：　アラーム信号を発報し続ける設定の場合に「オン」に選択します。

カーソルの【▼】ボタンで各項目に移動　→　【ENT】で決定　→　【◀ / ▶】ボタンで「オン / オフ」または「NO/NC」を設定変更→　【ENT】で決定

●モーション　：　動体検知録画の「オン / オフ」を設定します。
オンにすると、録画は映像の動き（動体検知）があった際に録画を開始します。
※画像の中の動きを検知するため、光の動きなどにも反応します。人物に限らず録画が開始されますので
カメラの位置や撮影範囲に注意して設定してください。

カーソルを【▼】ボタンで各項目に移動　→　【ENT】で決定　→　【◀ / ▶】ボタンで設定変更→
【ENT】で決定

● 感度：(高い / 普通 / 低い)　動体検知の感度を設定します。
高い（小さな動きでも反応します）→ 普通→ 低い（普通より感度が少し鈍くなります)

●スケジュールセットアップ　：　スケジュール録画の設定を行います。
※モーション録画 / 連続録画時は必ず「オフ」を選択してください。
○時間：連続録画を、設定した時間実行し、設定時間外は録画を停止します。
○時間＆イベント：イベント録画を、設定時間内実行し、設定時間外はイベント録画を停止します。

（例）左の画面では、
1. 月曜～金曜　00：00 ～ 09：00
2. 月曜～金曜　18：00 ～ 23：00
の時間帯に、モーションが感知した場合のみ録画をします。

【▲ / ▼ / ◀ / ▶ /】ボタンで移動、
選択します。
【ENT】ボタンで決定、次項目へ移動します。
【MENU】ボタンで前画面に戻ります。

カーソルが番号と OFF を両方囲んだ図 (図 1)

メインメニュー / イベントセットアップ / スケジュールセットアップを選択

カーソルを【▼】ボタンで“スケジュールセットアップ”に合わせ　【ENT】で決定
設定を「時間」または「時間＆イベント」のどちらかを選択します。
→ オフから曜日設定に変える場合は【ENT】を押し、カーソルで“オフ”だけを囲む (上記図 2 参照)
→　【▲ / ▼】ボタンで曜日を設定します。→【◀ / ▶】ボタンでカーソル移動→
同じように曜日、時間、分まで設定
→【ENT】を押してカーソルが横一列選択したら【▲ / ▼】ボタンでカーソルを上下に移動できます。
※移動できるようになれば、設定は保存されています。

3-5　サブメニュー

パスワードなどの設定を行います。

【▲ / ▼ / ◀ / ▶ /】ボタンで移動、
選択します。
【ENT】ボタンで決定、次項目へ移動します。
【MENU】ボタンで前画面に戻ります。

●パスワード設定　：　パスワード機能を「はい / いいえ」選択します。
「いいえ」を選択すると、全てのパスワード機能しなくなります。
下記の操作もできなくなります。

カーソルを【▼】ボタンで各項目に移動　→　【ENT】で決定　→　【◀ / ▶】ボタンで設定変更→
【ENT】で決定

○パスワードの変更　：　「パスワード設定」が「はい」の状態で操作できます。
現在設定されているパスワードの数値を変更します。

リモコンの【▲ / ▼】ボタンでカーソルを移動　→【ENT】で項目決定の操作を使用し、
【ENT】で決定 →「パスワード変更」の画面が表示されますので、下記画面操作を行ってください。
工場出荷時・パスワードは“０００００”（【ENT】を４回押す）です。

【パスワードを変更するには】		
現在パスワード（現在のパスワード）	：	工場出荷時は”0000”
新規パスワード（新しいパスワード）	：	※※※※
パスワード確認（新しいパスワード　確認）	：	※※※※

【ENT】を押すとカーソルが「現在パスワード」に移動します。
「0」以外の数値を入力する場合は、【▲ / ▼】ボタンで数値を変え、設定したい数字が出たら
【ENT】ボタンを押します。カーソルが次の桁に移動し同じく操作し、４桁目を設定し終えたら
【ENT】ボタンを押し設定を終了します。
同様の操作を、「新規パスワード」「パスワード確認」でも行います。

●インデックス再作成　：　録画中のモニター画面に「インデックスアイコン」が表示された場合、
インデックスの再作成を行うことができます。

カーソルを【▼】ボタンで各項目に移動　→　【ENT】で決定　→　【◀ / ▶】ボタンで設定変更→
【ENT】で決定

録画の表示は最初に赤い色で表示され、それから白に変わります

赤い指標：レコーディングは処理中で、レコーディングを止めてもファイルは保存されません。(データは、ファイルを作るのに十分でありません)

白い指標：白い指標が示されるとき、レコーディングを止めても、ファイルは記録されています。

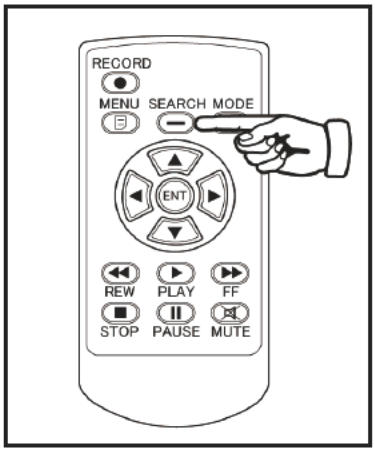
	EMERGENCY	連続録画中です。※英字表示時は「R」表示となります。
	MOTION	モーション録画中です。
	ALARM	アラーム録画中です。
	TIME	スケジュール録画中です。
	FULL	SD カードの残りがありません。 ※ OSD 設定の警告が OFF の場合、アイコンは 表示されません。
	SYNC	インデックス再作成を表示します。

録画検索

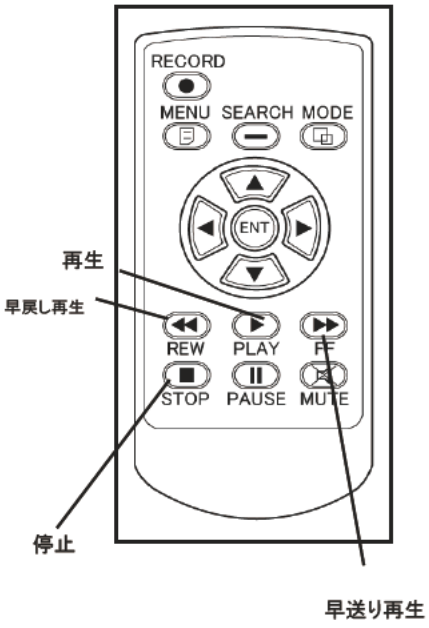
SEARCH 検索再生

『SEARCH』ボタンを押すと、ログインウインドウが現れます。

ENTER ボタンで、４桁パスワードを入力してください。



『リスト』をクリックしてください。検索結果がリストで表示されます。次に再生したいファイルを選択し、『PLAY』ボタンを押すと再生が開始されます。



検索方法

録画検索は「時間」、「イベント」、「両方」、「(指定) なし」の４種類の検索方法があります。
※イベントは「アラーム / 手動 / モーション / 時間」の４種類の録画システムを選択できます。
※「なし」を選択すると、保存されているすべての録画データを検索します。

●「時間」からの検索方法
検索方法を「時間」に選択すると、時間検索画面が表示されます。
ここでは検索開始時間と終了時間を設定し、その間に録画されたデータを検索します。

※１行目は検索開始時間の設定です。
【ENT】で決定 →【◀ / ▶】ボタンで項目を“時間”に設定 →【ENT】で決定
カーソルが“検索方法”に戻ったら【▼】ボタンでカーソルを画面中央の時間帯に移動させます。
※時間帯全体をカーソルが囲みます。
→【ENT】で決定 →【▲ / ▼】ボタンで“年”を設定→【ENT】で決定又は【▶】ボタンでカーソル移動
→以下同様に「月 / 日 / 時 / 分」まで設定したら →【ENT】で決定

※２行目は検索終了時間の設定です。
同様に「月 / 日 / 時 / 分」まで設定したら→【ENT】で決定→ 時間帯全体をカーソルが囲みます。
【▼】ボタンでカーソルを「リスト」へ移動→【ENT】で決定→ 録画検索リストが表示されます。

●「イベント」からの検索方法
検索方法を「イベント」に選択すると、時間検索画面が表示されます。
ここでは録画の種類別に検索します。

【ENT】で決定 →【◀ / ▶】ボタンで項目を“イベント”に設定 →【ENT】で決定
カーソルが“検索方法”に戻ったら【▼】ボタンでカーソルを「アラーム」へ移動させます。
※「アラーム」をカーソルが囲みます。
→【▶】ボタンで検索方法を表示させます。→「アラーム / 手動 / モーション / 時間」の各項目が順に表示されますので、検索したい項目が表示されるまで、順次ボタンを押してください。
→ 表示されたら【▼】ボタンでカーソルを「リスト」へ移動→【ENT】ボタンで検索します。

アラーム「A」アイコン　　＝アラーム録画
手動「E」アイコン　　＝「REC」ボタンを押す、強制連続録画
モーション「M」アイコン　＝動体検知録画
時間「T」アイコン　　＝スケジュール録画

●「両方」からの検索
前述の「時間」からの検索と、「イベント」からの検索を複合して検索します。
検索範囲時間を指定し、その中のイベントのみ検索します。

【ENT】で決定 →【◀ / ▶】ボタンで項目を“両方”に設定 →【ENT】で決定

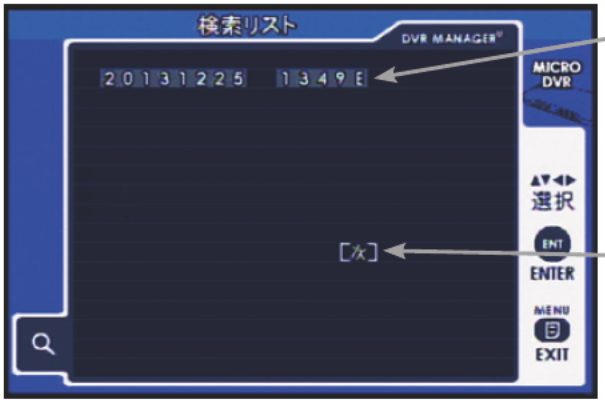
※以後の操作は、前述の「時間」と「イベント」ボタン操作を参照してください。
操作は、「イベント」→「時間」の順に設定します。

●「なし」からの検索
保存されているすべてのデータを検索します。

【ENT】で決定 →【 ◀ / ▶】ボタンで項目を“なし”に設定 →【ENT】で決定
カーソルが“検索方法”に戻ったら【▼】ボタンでカーソルを「リスト」へ移動させます。
【ENT】で決定→ 録画検索リストが表示されます。

●検索リスト

検索リスト画面では、検索された録画データが一覧で表示されます。



録画リスト
年月日　時分「イベント」

次のリストを表示

○録画リスト　：　録画データを「年月日　時分「イベントアイコン」 で表示します。
１ページに最大５行表示され、次のリストへ移動する場合は画面下部の「次」へカーソルを移動させます。

※再生操作
【▲ / ▼】ボタンでリストを選択→ 再生したいデータ上にカーソルが移動させ【ENT】ボタンで決定
→次画面では、再生は【▶】ボタンで開始。

※検索操作
【▲ / ▼】ボタンでリストを選択→「次」へカーソルを移動→【ENT】ボタンで次のリストを表示
リスト末尾まで移動すると、「前」と表示が変更されます。
再生を開始する場合は「※再生操作」を参照してください。

録画再生中は、早送り・巻き戻し操作をができます。

検索した映像を再生するには、【PLAY】ボタンを押してください。
すると再生が始まり時計表示は、検索した時間の表示となります。

●検索 早送り再生
【▶▶】ボタンを押すと“2 倍”の早送り映像になり、“x2”マークが数秒表示されます。
さらに押すと“4 倍”“8 倍”“16 倍”の早送り映像になりマークも、送りの 早さが数秒表示されます。

●検索 早戻し再生
【◀◀】ボタンを押すと“2 倍”の早戻し映像になり、“REW x2”マークが数秒表示されます。
表示は早送りと同様です。

●検索再生　停止
【■】ボタンを押すと再生を停止します。【Ⅱ】

※映像は選択した時間のデータのみを繰り返し画面に映し出します

5. 録画時間目安

※ SDHC カード 16GB 使用時　映像のみ録画

画像サイズ	画質	30フレーム/秒	15フレーム/秒	10フレーム/秒	6フレーム/秒	3フレーム/秒
704×480	高	17時間25分	34時間51分	52時間17分	87時間09分	174時間
	普通	31時間22分	62時間45分	94時間07分	156時間	313時間
	低	62時間45分	125時間	188時間	313時間	627時間
704×240	高	26時間08分	52時間17分	78時間26分	130時間	261時間
	普通	39時間13分	78時間26分	117時間	196時間	392時間
	低	78時間26分	156時間	235時間	392時間	784時間
352×240	高	31時間22分	62時間45分	94時間7分	156時間	313時間
	普通	57時間17分	104時間	156時間	261時間	522時間
	低	104時間	209時間	313時間	522時間	1045時間

撮影対象や環境条件によって表記録画時間は大幅に変動します。
（動きのある撮影対象ほど録画時間が短くなります）

映像と同時に音声も記録される場合、特に低フレーム / 秒では極端に記録時間が短くなります。
例）15 フレーム / 秒　：　表記時間の 85%～ 50%
6 フレーム / 秒　：　表記時間の 75%～ 30%

※録画フレーム：1 フレーム / 秒での記録は圧縮ソフトの特性上 3 フレーム / 秒の記録の約 50%の記録時間になります。したがって、本録画装置は 3 フレーム / 秒以上でのご使用を推奨します。

※ SD カードに記録可能なファイル数は２０００ファイルまでです。
２０００ファイル以上になると SD カードに空き容量があっても録画が停止します。（上書き OFF の場合）
ただし、上書きオンになっている場合は SD カードに空きがあってもそこから上書きしますが
２０００ファイルより多くはファイルしません。

6. トラブルシューティング

1．電源が入らない
本機の付属の AC アダプターが確実に接続されているか確認してください。
製品を長い間使わないで放置していると、内蔵のＲＴＣバッテリーが放電して製品が
起動しないことがあります。付属の AC アダプターを接続して 1 時間以上充電してください。

2. モニターに画面が表示ない
電源がオンであることを確かめてください。本体背面パネルの「POWER LED」が点灯しているか
確かめてください。点灯してなければ電源ケーブルが正確に接続されていない可能性があります。
また接続しているケーブル類が正確に接続されているか確認してください。

3. 画面にブルー・スクリーンだけ映る（時計表示などが表示されない）
本体の映像出力のケーブル、コネクター等の接続部をチェックしてください。これらの接続に関して
問題を見つけることができない場合は、カメラ電源ケーブルがしっかり接続されているかチェック
してください。

4. メニュー・ボタンを押してもメニュー画面が開かない
本体が録画中はメニュー画面は開きません。録画を停止してから操作を行ってください。
手動録画（画面右下に「E」マーク）を終了するためには、再度「RECORD」ボタンを押してください。
「E」マークが消えたら録画は停止です。
モーション録画（画面右下に「M」マーク）を終了するためには、画面右下より「E」、「M」マークを
両方を消してください。

5. 画面に、SD エラーメッセージがでる。
エラーメッセージが出る場合、SD カードを PC 上で再フォーマットをし直すか、それでもまだ
エラーメッセージが出るなら、SD カードを交換してください。また「SD カードがロックされています」
と表示される場合は、カード側面のロックを確認してください。

6. 録画されていない。
イベント録画の場合、イベント設定内の各設定が「オン」になっているか、またイベント設定内の
スケジュール設定をする場合はイベントの時間設定は合っているか確認します。
SD カードが認識されているか、録画ボタンを押し忘れていないかも確認します。

7. パソコンで SD カードに記録された映像データを見るには
SD カード上で使用されるファイル・フォーマットは、ウインドウズまたは Linux を含むどんな
PC オペレーティング・システムによっても支援されません。したがって、専用ソフトを使用せず
PC で、SD カード内の映像を見ることができません。専用ソフトのビューアーをインストールして
映像を見てください。

8. テレビやエアコンなどの各種赤外リモコンで反応することがありますので、リモコンで各種設定が
終わったらリモコン受光部を光透過しない厚手の粘着テープなどでふさぐことをお勧めします。
誤って赤外線が反応し、設定画面を呼び出しているときは録画しません。

保　証　書

株式会社NSKは、本製品についてご購入日より本保証書に記載の保証期間を設けております。
本製品は人命にかかわる医療機器等の用途には使用しないでください。
高い信頼性が求められる用途に使用する場合はシステムの故障等の処置に万全を期してください。
その場合、その結果に対しての損害賠償責任について弊社は負担いたしません。
本製品付属の取扱説明書などに従った正常な使用状態の下で、万一保障期間内に故障・不具合が発生した場合、本保障規定に基づき無償修理・交換対応を行います。
ただし、次のような場合には保障期間内であっても有償修理となります。
（修理を依頼される場合の往復の送料はお客様のご負担となります）

1.本保証書がない場合

2.本保証書に、ご購入日・お名前・ご購入代理店の印字等の記入がない場合、
　または購入先や購入日が改ざんされている場合
注:太字及び※印の項目は必ず記入願います。

3.取扱上の誤り、または不当な改造や修理を原因とする故障および損傷である場合

4.ご購入後の輸送・移動・移設・落下による故障および損傷

5.火災、地震、落雷、風水害、ガス害、塩害、異常電圧およびそのほかの天変地異など、
　外部に原因がある故障および損傷である場

6.他の機器との接続に起因する故障・損傷である場合

■初期不良交換、修理の手続き

●保証期間発生日より1ヵ月以内の故障に関しては、初期不良交換サービスの対象となります。

●お客様より初期不良である旨申告していただき、弊社がその申告現象を確認した場合に限り、初期不良品として新品と交換いたします。
（送料については弊社負担とさせていただきます）
ただし、検査の結果、動作環境や相性を起因とする不具合であった場合には、初期不良交換サービス対象とはなりません。
また、当サービスをご利用いただくには、お買い上げ商品のすべての付属品が揃っていることが条件となります。

●弊社では、出張修理あるいは不具合原因の現地調査は行っておりません。

●弊社ではセンドバック（先に修理依頼品または不具合品をお送りいただき、弊社より修理完了品または初期不良交換品をご返却する）方式でのみ、対応を行っております。

●修理費用については代理販売店や購入店を通しての対応となります。

⚠ 注意

■電源は家庭用AC100V（50Hz/60Hz）のコンセント以外で使用しないでください。また、タコ足配線はしないでください。火災、感電の原因となります。

■必ず付属のACアダプターを使用してください。

■ACアダプターのコードを傷つけたり、破損させたり加工したりしないでください。
重いものをのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると、コードを傷め、火災・感電の原因となります。

■ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

■万一、発熱していたり、煙が出ている、異臭がするなどの異常があるときは使用しないでください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
すぐにACアダプターをコンセントから抜いてください。

■動作環境範囲外で機器をご利用にならないでください。

■本器を改造あるいは、分解しないでください。火災・感電の原因となります。
また、内部には電圧の高い部分があり、感電の恐れがあります。

■長期間使用されないときは、安全のため、ACアダプターをコンセントから抜いておいてください。

■落雷の恐れがある場合は、すみやかに本器を停止させ、コンセントからACアダプターを抜いてください。（停電時のブレーカーの入切りによる突入電流が原因で機器が故障する場合があります。

■本器を次のような場所での使用や保管はしないでください。
●直射日光のあたる場所　●特に高温低温になる場所　●温度変化の激しい場所
●振動の多い場所　●油煙、湯気、湿気があたる場所　●静電気が多く発生する場所
●強い磁気や電磁波が発生する装置（発電機やアンプ）が近くにある場所
●機器の仕様に合わない不安定な場所や、落下の危険がある場所

■本器を移動、移設させる場合は、ACアダプターをコンセントから抜き通電停止の状態になってから配線を抜いて下さい。

■金融機器、医療機器や人名に直接または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

⚠ 録画機についての注意

■湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■本器の通風孔をふさがないでください。
内部に熱がこもり、機器の不良や火災の原因となることがあります。
内蔵の記憶媒体は高温に弱い場合もあるため、適度な換気が必要です。

■3年に一度を目安に内部の清掃や稼働点検を販売店に依頼してください。
なお、内部清掃点検費用については、販売店にご相談ください。

■主に録画装置に使用している記録媒体としてのハードディスクは、永久的に使用可能な媒体ではありません（消耗品扱いとなります）。
次の留意点踏まえたうえでご使用ください。
●衝撃、振動をあたえないでください。　●電源の入切りを頻繁に行わないでください。
●推奨環境:周辺温度25℃以下　●稼働時間18,000時間を超えた場合は交換を推奨します。
●録画データや運用設定などは必要に応じてバックアップをおこなってください。

■本器の利用に際し、故障や誤動作、不具合などによってデータの消失などの障害が発生しても、弊社では保証しかねることをあらかじめご了承ください。

■ご注意

●本器の故障・誤作動・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第三者による妨害行為などの
要因によって、通信、撮影、録画機会を逃したために生じた経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。

●通信、録画内容や保持情報漏えい、改ざん、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。

●本器のパッケージ等に記載されている機能、性能値は当社試験環境下での参考測定値であり、お客様環境下での性能を保障するものではありません。
また、バージョンアップ等により予告なく性能が上下することがあります。

●ハードウェア、ソフトウェア（ファームウェア）、外観に関しては将来予告なく変更されることがあります。

●ソフトウェア（ファームウェア）、更新ファイル公開を通じた修正や機能は、お客様サービスの一環として随時提供しているものです。
内容や提供時期に関しての保証は一切ありません。

●一般的にインターネットなどの公衆網の利用に際しては、通信事業者との契約が必要となります。

●通信事業者によっては公衆網に接続可能な端末の台数、機能、回線の使用率などについて設定を行っている場合がありますので、通信事業者と端末機器の導入に際して契約内容などをご確認ください。
このため弊社機器はすべての公衆網との接続を保障するものではありません。
通信事業者側の環境においては通信機能を有効にできない場合もありますのでご了承ください。

●公衆網に関連してDDNSサーバーのサービスを利用できる機器については、サーバーの臨時メンテナンスや、サーバー設備の障害、やむをえない事情によるサービス提供の停止、などの理由によりサービスを継続的に提供できない場合もありますので、あらかじめご了承願います。

●本器を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

●本器及び弊社製品は日本国内での利用可能な製品であるため、別途定める保証規定は日本国内でのみ有効です。海外での利用はできません。
また、ご利用の際は各地域の法令や政令、ガイドラインなどに従ってください。

■免責事項

●お客様が購入された製品の使用において、録画映像の流出や、不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社では一切責任を負いません。

●お客様および第三者の故意または過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。

●製品の使用および不具合の発生によって、二次的に発生した損害（事業の中断および事業利益の損失、記憶装置の内容の変化・消失、また建物の現状復帰や取り外し施工についての費用・損失）につきましては、弊社では一切責任を負いません。

●製品の装着することによりほかの機器に生じた故障・損傷について、弊社では本製品以外についての修理費等は一切保障いたしません。

※本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in japan.

製品保証書

※保証期間		ご購入日　　年　　月　　日　より **1 年間**
製品型番		**NS-30VSDR/NS-31SDR**
※製造番号 シリアル NO.		
お客様 連絡先	お名前	
	ご住所	
ご購入 代理店様 所在地		

株式会社ＮＳＫ
〒461-0043 名古屋市東区大幸 1 丁目 10-15
受付：月～金曜日、9：00 ～ 12：00
13：00 ～ 18：00
※祝祭日、弊社指定休業日を除く
弊社 HP：http://www.n-sk.jp
お問合せ Mail：hp@nsk-sec.co.jp